

# 若鮎だより

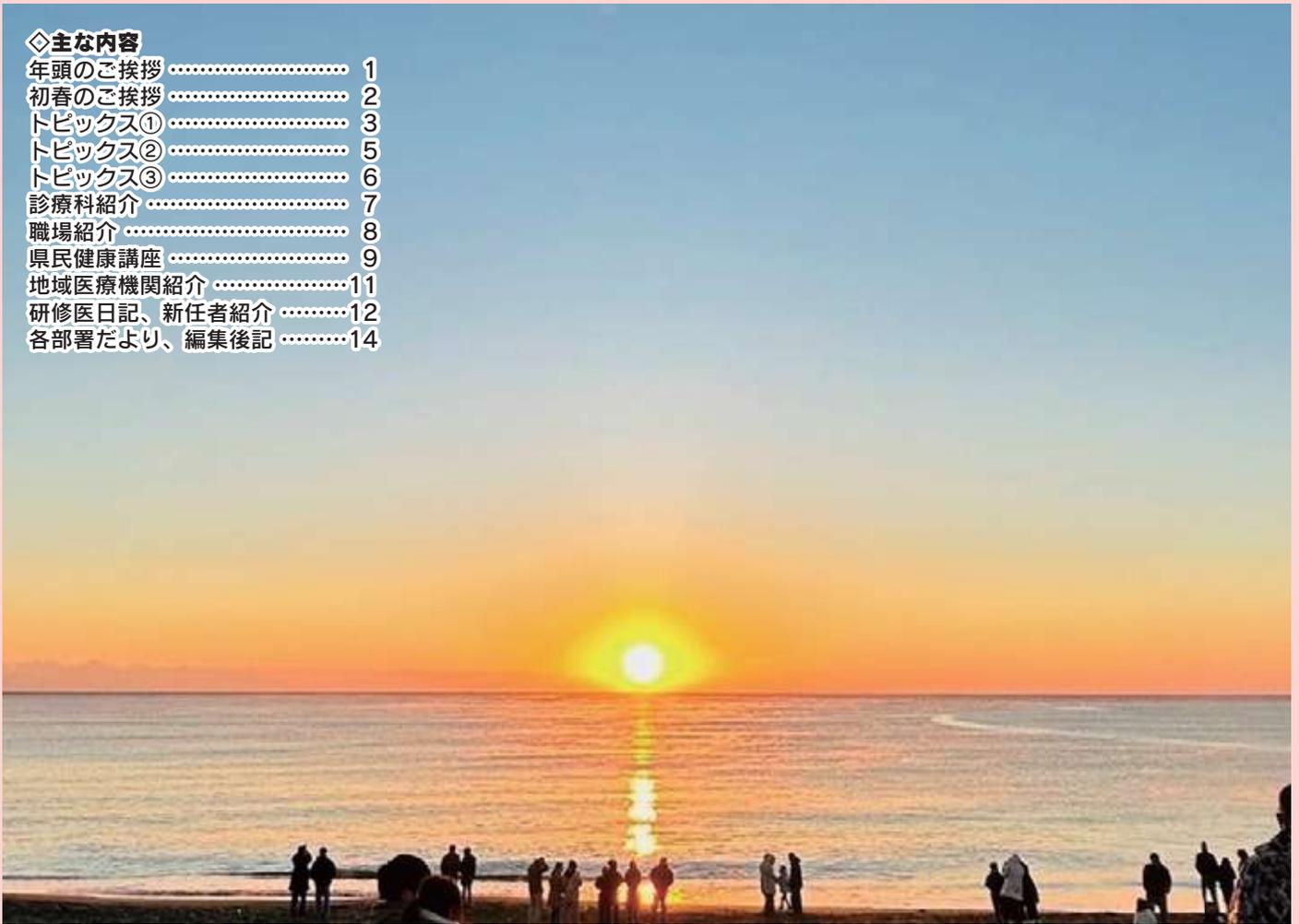
第68号

2025  
冬号

ご自由にお持ち帰りください。

## ◇主な内容

年頭のご挨拶 .....	1
初春のご挨拶 .....	2
トピックス① .....	3
トピックス② .....	5
トピックス③ .....	6
診療科紹介 .....	7
職場紹介 .....	8
県民健康講座 .....	9
地域医療機関紹介 .....	11
研修医日記、新任者紹介 .....	12
各部署だより、編集後記 .....	14



長浜海岸にて 初日の出（事務部 外園節子さん撮影）



宮崎県立延岡病院

Miyazaki Prefectural NOBEOKA Hospital

〒882-0835 延岡市新小路2丁目1-10

TEL 0982-32-6181

FAX 0982-32-6759

URL: <https://nobeoka-kenbyo.jp>





院長 山口 哲 朗

皆さん、こんにちは。立春を迎え、少しずつ春の足音が感じられる季節となりました。昨年から続くインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行に対し、当院では予防対策の徹底に努め、患者さんに安心してご利用いただける環境を整えてまいりました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、2024年を振り返りますと、地震災害や豪雨災害などが甚大な被害が発生しました。昨年1月の能登半島地震には当院からも災害対応医療チームを派遣し災害医療に尽力いたしました。明るい話題ではオリンピックでの日本人選手の活躍や、アメリカ大リーグの大谷翔平選手の活躍があり毎日テレビに釘付けとなりました。

医療界では多くの公立病院の経営が悪化する中、昨年は県立3病院の赤字問題が大きく取り上げられました。当院では職員一丸となった病院運営をおこない医療の質、効率化を評価する「DPC機能評価係数Ⅱ」が令和6年度は全国1位となりました。さらに長年の経営努力、地域医療に対する貢献が認められ公立病院連盟表彰を受けることが出来ました。これもひとえに「宮崎県北の地域医療を守る会」を始めとする県民の皆様、多くの医療機関、行政機関のご支援のたまものと重ねて感謝を申し上げます。

2月は新年度を迎える準備が本格化する時期でもあります。地域においては南海トラフ地震など大規模災害への対策や救急医療の充実を地域の医療機関が連携しておこなう体制強化が重要となります。院内におきましては2月22日から24日にかけて電子カルテの更新をおこないます。スムーズな更新のため少なからず診療制限をおこなう予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、さらなる経営改善、職場環境の改善、働き方改革も推進してまいります。今後も患者さん本位の良質で安全な医療の提供および医療スタッフが安心して働ける環境づくりを目指してまいります。皆様のご指導、ご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。



# 初春のご挨拶

看護部長 小泉 さなえ

2025年の幕明けとなりましたが、皆様は新年のスタートはいかがでしょう。

「2025年問題」という言葉をご存じの方も多いかと思います。2025年に団塊の世代が75歳以上になることで、医療費や介護費の増大、労働力の不足などが生じ社会に多大な影響を与えるといわれてきました。以前から社会問題として捉えられていましたが、いよいよその年を迎えたこととなります。現在では、この問題がさらに深刻化する『2040年問題』もあり、各分野は喫緊の課題としています。懸念材料の一つとして職業選択に医療関係を選ぶ学生が減少しているそうです。当院でも入職を目的とした病院見学会、学生を対象とした看護体験などをおこなっていますが、医療や看護の現場に接する機会を設け、看護の魅力を伝えることで人材確保に役立てていきます。

昨年を振り返りますと、能登半島地震による災害が始まりでした。一方、県北地域でも大雨被害があり悲しいつらい経験をされた方もいらっしゃいます。心よりお見舞いを申し上げます。突然起こる災害には、災害拠点病院でもある当院の役割を意識しつつ、個人として日頃からの備えの重要性を改めて感じました。明るい話題としては、スポーツ関連、特に大リーグ大谷選手の活躍でしょうか。驚きと嬉しさと、日本人としての誇りにつきました。ある報道では、個人成績の栄誉以上にチームの勝利を大事にし、チームワークを大事にしながら同じ目標に向かう精神にとても感動しました。

当院の職員も一つの目標に取り組んだことがあります。12月に日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審です。医療の質を見直す機会となり整備したことを、今後は維持していかなければなりません。県北地域の高度医療を担う病院として、患者さんやご家族を大切にし地域を支える病院となるよう努めてまいります。

令和7年が、皆さんにとって良い年になりますようお祈り申し上げます。

# こころほかほかコンサートが開催されました!

令和6年12月14日(土)に、当院2階講堂において「第22回こころほかほかコンサート」が開催されました。

当コンサートは平成13年から始まり、音楽を通して皆様の心がほかほかと温まりますように!という願いを込めて開催しています。

今年は5組の出演者による合唱や演奏が行われ、観覧された患者さんやご家族に心温まる癒やしの演奏を提供いただきました。

多くの個人・団体の皆さんにご協力いただきましたことを、当院一同、心より感謝申し上げます。



旭化成合唱団



のべおか児童合唱団



# コンサートプログラム

## 1. 旭化成延岡合唱団

代表：磨田 文男 指揮：松羽 裕之 伴奏：山之口 圭子  
曲目：①愛の花 ②クリスマス・イブ

## 2. 津野田音楽院&延岡少年少女合唱団

代表：津野田 千恵 指揮：工藤 由紀子 伴奏：津野田 千恵  
イングリッシュ・ハンドベル

曲目：①牧人ひつじを ②聖夜 ③赤鼻のトナカイ  
④サンタが町にやってくる ⑤ジングル・ベル  
⑥あわてんぼうのサンタクロース ⑦歓喜の歌

## 3. ギター演奏

代表：長友 廣  
曲目：①スターダスト ②必殺仕事人 ③夜霧のしのび逢

## 4. デコピン（院内スタッフバンド）演奏

演奏：日高 里奈  
曲目：①糸 ②赤鼻のトナカイ ③ボラーレ

## 5. のべおか児童合唱団

代表：松原 由美 指揮：松原 由美 伴奏：山之口 圭子  
曲目：①友達 ②夢の世界を ③にじ ④ジングル・ベル



デコピン  
(院内スタッフバンド)  
演奏

患者さんとのふれあい  
(津野田音楽院&  
延岡少年少女合唱団)



## 「ありがとうカレンダー」をいただきました!



令和6年12月19日(木)、「県北の地域医療を守る会」から、「ありがとうカレンダー」をいただきました。

「ありがとうカレンダー」は、延岡市内の子どもたちが消しゴムで手作りのはんこを作り、それを使ってカレンダーを製作したもので、月ごとの季節にちなんだデザインで、医療従事者へ感謝の気持ちを込めた心温まるものとなっています。

県立延岡病院の講堂で「ありがとうカレンダー」の贈呈式をおこない、代表の小学生9人が当院を訪れ、子どもたちから、院長の山口先生、2年次研修医の柏田先生、1年次研修医の安藤先生が、カレンダーと花束、メッセージを書き込んだメダルを受け取りました。

代表の小学生からは、「24時間365日、命を守ってもらっているおかげで安心して生活することができています。」という感謝の言葉を頂きました。

先生方からは、「今後も県北の医療のために頑張りたいと思います。」「将来、皆さんと一緒に働けると嬉しいです。」「カレンダーを見て毎日元気もらっています。」などと、お礼を伝えました。

贈呈式の終了後、子どもたちは救命救急センターにてドクターカーを見学し、興味津々な様子でした。

頂いたカレンダーは当院の医師や研修医の皆さんにお渡しし、大切に使っています。素敵なカレンダーの贈呈に、心より感謝申し上げます。



県北の地域医療を守る会と子どもたち



子どもたちから先生方へ



ドクターカー見学



ドクターカーの前で

## 地域医療機関との交流会 「連携の集い（歯科部門）」を開催しました！

県立延岡病院と地域医療機関が互いに関係を強化し、県北地域の医療連携を推進するため、令和6年10月3日(木)に交流会「連携の集い」(歯科部門)を開催しました。当日は県北地域28の医療機関より34名の皆様に御出席いただき、当院についての紹介式と医療関係者同士の交流・意見交換会をおこないました。

紹介式では、歯科口腔外科の山本医師より、当院の設備や取り扱っている疾患、歯科口腔外科関係での入院・外来実績などについて紹介をおこなったほか、救命救急科の金丸医師より、救命救急センターの取組や医科歯科連携の重要性、今後の展望等を紹介しました。

交流・意見交換会では延岡市歯科医師会長の岩崎先生、日向市・東臼杵郡歯科医師会長の田村先生、西臼杵郡歯科医師会長の岩田先生より御挨拶をいただき、県北地域の歯科医療を一丸となって向上させていく機運が醸成されました。

今後も地域の医療機関の先生方と「顔の見える関係」を構築し、より一層連携を深めて参ります。



院長：山口 哲朗



歯科口腔外科 部長：山本 哲彰



歯科口腔外科 副医長：山下沙弥香



歯科口腔外科 医員：相川 愛恵



救命救急センター長：金丸 勝弘

## 新任者 紹介

新しいスタッフを  
ご紹介いたします。

### 心臓血管外科 医長

にしむら まさのり  
**西村 征憲**  
(令和7年1月着任)

県北の医療に貢献できるようがんばります。

### 救命救急科 副医長

やまうち ゆうた  
**山内 佑太**  
(令和6年11月着任)

2回目の延岡病院赴任となります。県北地域の救急医療を守るため尽力します。

# 診療科紹介

## 整形外科



当科は、現在医師6名で診療にあたっています。うち3名が日本整形外科学会専門医です。外来は基本的に予約制になっています。初めての患者さんは紹介制となっておりますので、かかりつけの病院からの紹介状の持参をお願いしています。

当院では、外傷や骨折に対する手術、人工関節手術、脊椎外科などの手術をおこなっており、2023年度は年間752例おこないました。最近では侵襲の少ない人工関節手術や脊椎疾患にナビゲーション器械を用いて安全性の高い手術をおこなっています。

当院は県北唯一の高次救急に対応しており、他院では診療できない多発外傷、脊椎疾患、難治疾患などに対し他診療科と連携して専門的に診療をおこなっています。

手術後は、早期復帰に向けて他院との連携もおこない、スムーズな転院を進めています。

当院で対応できない疾患については、宮崎大学病院と適宜連携しています。より専門的な医療を提供できるように、今後ともスタッフ一丸となって努力していきたいと思っております。

## 呼吸器外科



呼吸器外科医3人を中心に、呼吸器の手術が必要な患者さんの診療をおこなっています。

呼吸器外科の診療で最も多い疾患は肺癌です。肺癌は初期であれば手術だけで治せますが、少しでも進行していると手術前後で放射線治療や抗癌剤治療が必要となります。そこで当院では呼吸器外科と呼吸器内科が呼吸器センターを構築し、病理診断科、放射線科とタッグを組んで肺癌診療をおこなっています。

近年肺癌治療は目覚ましく進歩しています。数年前は手術できなかった進行肺癌の患者さんでも、放射線治療や抗癌剤治療を組み合わせる事で根治手術ができる時代になっています。また手術機材の進歩により、小さい穴だけで手術をおこなう内視鏡手術が主流となっており、高齢者や持病がある患者さんでも安心安全な手術が可能です。

当院呼吸器外科は他科や他院との連携を大切にしています。肺癌に限らず、どの病院の何科に相談したらいいのか分からないような場合や内科的な病気であっても、まずは当院呼吸器外科にお気軽にご相談ください。主治医の先生に県病院の呼吸器外科に紹介して欲しいとお伝えください。呼吸に関することであればどんな小さなことでも構いません。必要に応じて呼吸器外科が窓口になり、適切な科や病院に紹介させていただきます。

# 職場紹介

## 5階西病棟



重要な役割を担っています。

5階フロアーに心臓リハビリテーション室や透析センターがあり他部門と連携をとっています。心臓リハビリカンファレンスを毎週開催し、患者さんの早期回復と退院に向けて多職種で話し合いを行っています。今後も、多職種と連携し、患者さんやご家族が満足できるような質の高い医療の提供に努めていきたいと考えています。

5西病棟は、心臓血管外科、循環器内科、腎臓内科の混合病棟です。心臓血管外科は、主に心臓や血管形成術等の手術を受ける患者さんが入院しています。循環器内科は、心臓カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術）、心不全治療、ペースメーカー移植術等を受ける患者さんが数多く入院し、最近是不整脈治療（アブレーション）を受ける患者さんも増えています。腎臓内科は急性腎障害など様々な腎疾患の治療、シャント作成術を行い透析導入する患者さんが入院しています。各診療科が県北医療の中心として重

## 看護部



12名の他に、専門の研修を受けた看護師等が在籍し、各分野で活躍しています。

また、災害発生時にはDMAT（災害派遣医療チーム）、災害支援ナースが災害地で活動し、地域住民の皆さんの命と暮らしを守っています。

看護師は、患者さんやご家族の一番近いところに対応しています。患者さんやご家族の言葉に耳を傾け、気持ちに寄り添う看護をお届けできるように日々頑張っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

看護部は、病院2階にあります。令和6年4月に小泉看護部長が就任し、副看護部長2名、教育担当師長1名、事務担当2名、総勢6名で、看護職員（看護師、看護補助者など）総勢約500名の統括、支援をおこなっています。

当院は、県北地域の中核病院として、救急医療や、高度医療に対応する事が求められています。これらの医療体制を支えるため、当院には、経験豊かで様々な資格を取得した看護師が多く在籍しています。専門的な知識、技術を有する人材として、専門看護師1名、認定看護師

# 県民健康講座

## 県北から突然死する乳幼児をなくすために 今、私たちができること



2023年の出生数は72万7277人で前年より4万3000人減少しています。宮崎県の出生数は、2023年が6,751人、1975年は17,359人ですので、約50年で4割弱にまで減っていて、少子高齢化に歯止めがかからない状況です。未来を担って生まれてくる子どもたちですが、1歳未満の死亡原因では、男児の5位、女児の4位が予期せず突然死する乳幼児突然死症候群です。うつぶせ寝、暖めすぎ、妊娠中や出生後の周囲での喫煙、非母乳保育、添い寝などの環境因子がリスク因子と考えられています。発症を防ぐためには、あおむけに寝かせること、できるだけ母乳で育てること、家庭内での喫煙をやめることが大切です。あおむけ寝では、睡眠中に吐いたとしても飲食物が気管ではなく、より背中に近い食道に流れ込むので誤嚥しにくくなります。家庭でできる窒息予防としては、隙間への挟まり、柔らかい寝具への沈み込み、覆いかぶさりに注意しましょう。「隙間にはいつか落ちる。そのとき、死に至ることもある」との認識が肝心です。顔が沈み込む「ふかふか・ふわふわ」は要注意です。大人がとても疲れているときや飲酒したり睡眠薬を服用したときの添い寝は、子どもを圧迫しても気づきにくいので危険です。親と赤ちゃんが寝るベッドや布団は、別々にすることが推奨されています。家庭でいろいろ気をつけても、虐待死で亡くなる子どもの半分近くは0歳児で最多です。宮崎県でも児童虐待の相談対応件数は、2023年度が1,791件となっており、出生数の低下に反比例して増加しています。昨年、市役所2階に設置された「こども家庭サポートセンター」では、妊娠・出産、子育て、児童虐待の相談を受けることができます。来年1月11日には、当院で児童虐待対応研修会が開催される予定です。生まれた子どもたちが、1歳の誕生日を迎えることができるように、今、できることをみんなで考えていきましょう。

# 県民健康講座

## ここまで進んだ心不全治療



循環器内科主任部長 山本 展誉  
(県立延岡病院講堂 2024.12.18)

心不全とは「心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」です。症状としては、呼吸困難を主体とした「肺うっ血」や全身のむくみを主体とした「体うっ血」が出現します。

このような心不全患者が急激に増加することが予測されています。「延岡ハートスタディ」において、新たに心不全を発症する患者数が80歳以上で急激に上昇することを報告いたしました。実際10年前に比べ当院に入院する年間心不全患者数は2.3倍に増加しています。

がん対策基本法が2006年に公布され、治療はもちろん社会的なサポートも仕組みが整い、がん患者の生命予後は劇的に向上しました。一方、心不全患者の予後は1年死亡率23%と悪く、大腸がんと同程度であり、決して楽観視はできません。このようなこともあり、「循環器病対策基本法」が2018年に制定され、がんと同様、今後、社会的なサポートも含めて治療の進展が大いに期待されています。

講演の中では、2000年から始まる心不全治療薬の歴史と最近登場した新しい心不全薬について解説をおこないました。現在は、Fantastic Fourと呼ばれる心不全薬(β遮断薬、MRA、ARNI、SGLT阻害薬)をすべて併用することが基本となっています。多剤の内服を躊躇する方もいるかと思いますが、何らかの理由で併用薬が少ないと予後不良であることも報告されています。

非薬物療法についても様々な治療ができるようになりました。当院で以前からおこなっている虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)に対する経皮的冠動脈インターベンションに加え、今年度より不整脈専門医(伊藤美和先生)の着任により、不整脈(特に心房細動)に対するカテーテルアブレーションも当院でおこなうことができるようになりました。

劇症型心筋炎はウイルス感染で発症する致死率の高い病気ですが、当院でもインペラやECMO(エクモ)といった補助循環デバイスを駆使して救命し、現在はLVAO(人工心臓)でお暮らしの患者さんについても報告しました。

このように心不全治療も年々進んでいますが、まずは予防が一番大切です。がんのステージは1から4まででありステージ4が末期がんですが、心不全のステージも同様にA B C Dあり、ステージDが末期心不全です。高血圧や糖尿病といった生活習慣病はすでにステージAの心不全状態に該当します。生活習慣病をお持ちの方は、がん患者と同様、進行しないようにしっかりと治療に取り組んで頂けますと幸いです。

# 地域医療機関紹介



院長：高石 真那斗  
訪問診療の様子

## 日向たかいしクリニック

当院は、一般内科・総合診療の外来診療、訪問診療を軸にして、「家族みんなのかかりつけクリニック」をコンセプトに中学生・高校生から、働き盛りの年代の方、通院が難しくなった高齢の方まで、様々な方々のお役に立てるクリニックを目指しております。



スタッフのみなさん

### 【当院の特徴】

- ①受付時間は平日が15：00～18：30、土曜日が9：00～17：30で、平日の夕方にも受診が可能です。
- ②日曜・月曜は休診ですが、その他の曜日は祝日も診療します。
- ③初診・再診ともに予約制で、24時間WEB予約が可能です。
- ④訪問診療も積極的に取り組んでおり、自宅での点滴、緩和ケア、看取りなども可能です。
- ⑤予防接種、健康診断など予防医療にも力を注いでいます。

詳細につきましては当院WEBページ (<https://takaishi.org/>) をご覧ください。



外観



住所：宮崎県日向市春原町1丁目38 TEL：0982-66-0870



院長：鮫島 哲郎

## 医療法人 望洋会 鮫島病院

当院は日向市塩見に初代理事長が立ち上げて、半世紀の年月が流れております。

当初は木造平屋の建物でありましたが、数回の改築を得て現在の姿になりました。

入院病床数は240床で、神経症圏内、精神疾患、器質性精神疾患、及び認知症の患者様が主に入院されています。

また、アウトリーチにも力を入れており、訪問看護ステーション、精神科デイケア、訪問診療もおこなっています。外来に関しては、精神科、心療内科、内科、放射線科、整形外科に加え、発達に関わる不安や症状を持たれた患者様も診察できる環境を整え多くの患者様が受診しておられます。

このように、精神科医療を取り巻く環境も大きく変わり、私たち職員一同も、時代の要請に答えるべく努力、研鑽を積み上げて参りました。

今後も、当院の理念である「信頼ある質の高い医療を提供

するとともに、患者様が笑顔で地域社会と触れ合う空間を提供する」を念頭に置き、地域の方々が安心できる医療を提供できるよう、職員と共に努力していきます。



外観



ロビー

住所：宮崎県日向市大字塩見字小堤14168 TEL：0982-54-6801

あけましておめでとうございます。研修医1年目、日向市出身の安藤菜々子と申します。延岡で初期研修をはじめて半年以上が過ぎました。振り返ってみると分からないことだらけで慌ててばかりでしたが、スタッフの皆様が親身に教えてくださったり、患者さんも優しく受け入れてくださったりと、改めて延岡の温かさを感じた半年間でした。

研修を始めた頃は同期が女子1人だったので不安な気持ちが少しありましたが、同期も二年目の先輩方もいい人ばかりで毎日楽しく過ごせています。また、毎月来る他病院の研修医の方々とも仲良くなれることも延岡の良さだと思います。昨年の夏には研修医二年目の先輩方と宮崎大学の研修医と一緒に大分に女子旅に行き、遊園地に行ったり温泉で癒されたり、休日を満喫してきました。

残りの研修も日々努力し成長していきたいと思います。迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



女子旅にて

## お知らせ お祝い膳を始めました！

令和6年6月から、当院でご出産された患者様向けのお食事を開始しました。経膈分娩の場合は出産1日目、帝王切開の場合は出産5日目の夕食に産後の身体の回復と心身のリフレッシュができるようお祝いの気持ちを込めて心ばかりの“お祝い膳”をご用意しています。



- 通常メニューに
- ステーキ (ソース別添え)
  - 季節のフルーツ盛り合わせ
  - ケーキ
  - 紅白祝箸
- がつきます。

🌸 頑張ったお母さん達の産後の楽しみの一つになれば幸いです 🌸

## 感染管理科便り

みなさんこんにちは。寒さが厳しい季節になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？今回は、新型コロナワクチンについて話をしたいと思います。

新型コロナによって重症化する割合は、65歳以上で高く、重症化しやすいこの年代の方及びこの年代に近く一定の基礎疾患を有する方を対象に10月から定期接種を実施しています。今年度は「オミクロン」N.1系統の株に対応したワクチン」を使用します。

- 〈接種対象者〉**
- 65歳以上の方
  - 60～64歳で心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を極度に制限される方
  - 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害があり日常生活がほとんど不可能の方

**〈期間〉** 10月1日～翌年3月31日

※自治体によって実施期間が異なる場合があるため、お住まいの市町村にお問い合わせください。

### 〈接種できるワクチン〉

mRNAワクチン	組換えタンパクワクチン
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイザー社・モデルナ社・第一三共社</li> <li>・Meiji Seikaファルマ社（レプリコンワクチン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武田薬品工業社</li> </ul>

### 〈定期接種を受ける方法・費用〉

- 定期接種はお住まいの（住民票のある）市町村で実施されます。
- 接種できる場所や費用についての詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

### 〈ワクチンの効果〉

- 新型コロナワクチンは、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されており、さらに、国内外で実施された研究において、新型コロナ感染症による入院などの重症化を予防する効果が報告されています。
  - 2023/24シーズン(令和5年度秋冬の接種)で用いられたオミクロンXBB.1.5系統対応ワクチンの効果として、新型コロナ感染症による入院を約40～70%程度予防した等の報告が国内外で行われています。
- 文責：感染管理科 中武

## お知らせ マイナンバーカード（保険証・お薬手帳）よくある質問

**Q.** マイナ保険証を利用すると自分の過去のお薬情報を確認できると聞いたけど、どうすればいいの？お薬手帳は不要になるの？

**A.** マイナ保険証を利用すると、過去1ヶ月～5年の間（※）に処方・調剤された分のお薬情報を、自身のマイナポータルや対応する電子版お薬手帳を通して確認できます。

※電子処方箋対応の医療機関・薬局では即時～5年の間の情報を確認可能。

なお、自身で購入されたOTC医薬品などはマイナポータルで確認できないため、お薬手帳での管理が有効です。



## 看護部だより

看護部 がん看護専門看護師 吉田 希美

私は、がん看護専門看護師として患者さんと家族の様々な不安や悩みに対する相談支援や、体や心の痛みへの緩和ケアをおこなっています。また、治療や生活の場所を決めていく過程で患者さんや家族の気持ちに寄り添い、意思決定支援をおこなっています。がん患者さんの生命力を信じ、ともに苦難を乗り越え、よりよく生きることを支えたいです。これからもよりよいがん看護を患者さんやご家族へお届けするために、精一杯力を尽くしていきます。

教育活動として、病院内ではがん看護の質向上のためのがん看護教育をおこない、病院外では他の医療機関や大学で講義をおこなっています。2018年から小学校や中学校でいのちの授業やがん教育を始めています。子ども達は私の話を真剣に聞き、「今までに一番嬉しかった言葉は何ですか」「看護師になりたい」等、質問や思いを発言していました。喪失体験のある子どもは、「誰もがんになってほしくない」と泣いて話していました。また、「自分の命、みんなの命がどれだけ大切か気づかされた」「ぼくもいつかはなるのかな」「話を聞いて、こわいイメージがなくなった」「がんになりにくい体をつくりたい」「残食や好き嫌いはもうやめよう」等、感想を書いていました。子ども達の意見や感想は、私に気づきと活力を与えてくれます。教育を通じて、がん患者への理解と健康や命の大切さを育む社会をつくっていきたいです。



## 編集後記

〈編集長 呼吸器外科 主任部長 能勢直弘〉

### 人生会議をしましょう

ある調査\*によると、重篤な状態となった人のうち、受けたい治療を自分で選択できた人の割合は3割だそうです。逆に言うと7割の人は人生の最終段階の治療方針は自分以外の人が決めているということになります。

実際、怪我や病気の悪化等で意思疎通が困難になった患者さんに対してしばしば病院が取る対応は、まず最も身近なご家族を病院にお呼びし、患者さんの居ない別室に案内します。そこで医師が病状や命の見通しなどの説明をおこない、ご家族と医療者だけで治療や看護の方針を決めます。

自分の居ないところで自分以外が自分の治療方針を決める、なんとも不自然なことと思いませんか？患者さん本人には不本意な医療となったり、重大な決断を迫られるご家族の心の負担は計り知れないと考えられます。

厚労省が推し進めている人生会議（アドバンスケアプランニング：元気なうちに本人、家族、医療従事者が話し合っただけで人生の最終段階で受けたい医療を事前に決めておく取り組み）をぜひご検討ください。



当院では人生会議（アドバンスケアプランニング）を積極的に助めております。お気軽にご相談ください。

\*Silveira MJ, NEJM 2011

# 宮崎県立延岡病院 外来診療・病棟案内

● 外来診療については、かかりつけ医の紹介状と病院・診療所からの事前予約が必要です。 令和7年1月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	特殊診察等
内科	呼吸器 (新患) (再診)	清水	味志	-	天神	児嶋	(水)(金)午後……………気管支鏡検査 (火)(木)……………腹膜透析外来 (火)(水)(木)午前……………上部消化管内視鏡 (火)(木)午後……………下部消化管内視鏡 (火)午後……………腎内手術
	血液	外山	外山	外山	外山	外山(再診)	
	消化器 (新患) (再診)	林/小野	-	-	-	市成/林	
	腎臓	-	-	西園	-	宮田	
呼吸器外科	能勢(再診) 濱廣	手術	能勢 濱廣	能勢 濱廣	手術	(火)(金)……………手術 (水)(金)午後……………気管支鏡検査	
外科・消化器外科	土居 石躍	土居 本田	手術	山根 本田	石躍	(火)(木)……………特殊検査 ストーマ外来	
心臓血管センター	心臓血管外科	西村	手術	西村	手術	西村	(月)(火)(木)……………手術
	循環器内科	森	黒木	(不整脈外来) 伊藤	山本(展)	村田	(月)~(金)……………手術・検査 (月)~(金)9時30分~…心臓カテーテル (月)(水)(金)午後……………ペースメーカー外来
整形外科	座間味	栗原	手術	栗原	手術	栗原 小北 北島 井口 肥後 (リウマチ外来の無い日)	(月)(水)(金)……………手術 毎月第3(金)……………こども療育センター外来 (脳神経外科にて診察)
	小菌	座間味		小北			
	井口	北島		井口			
		肥後		肥後			
歯科口腔外科	手術	山本(哲)	山本(哲)	山本(哲)	山本(哲)	(月)……………手術 毎週(木)午後……………手術	
		山下(沙)	山下(沙)	山下(沙)	山下(沙)		
		相川	相川	相川	相川		
				手術			
産婦人科 周産期科	山内	手術	大塚(晃)	手術	第2・第4 都築	(火)(木)……………手術 第1・第3・第5(金)……宮崎大学非常勤医師 ※火曜日午後診察……………都築 ※木曜日午後診察……………大澤	
	大塚(晃) (午前)		都築 (午前)		大塚(晃) (午前)		
	大澤(午後)		都築 (午後)		大澤 (午後)		
産婦人科	山内		大塚(晃)		山内(午後)		
耳鼻咽喉科	猿渡	猿渡	手術	猿渡	猿渡	(水)……………手術 (水、第1・第3(金))…休診日 (月)……………難聴外来 (火)(金)午後……………嚙下外来(院内コンサルトのみ)	
小児科	中村	-	中村	中村	佛淵	(月)午後……………予防接種(指定患者のみ) (火)(水)午後……………慢性疾患 (木)午後……………乳児検診・フォローアップ外来 8月~3月 シナジス	
	佛淵	久保田	-	-	久保田		
	二見	二見	久保田	佛淵	二見		
脳神経センター 脳神経外科	穴井 村井	手術	西川	手術	穴井 西川	(火)(木)……………手術 (月)(水)午後……………血管造影	
皮膚科	後田	後田	後田	手術	後田	(木)……………手術 (木)……………休診日	
	下西	下西	下西		下西		
泌尿器科	山下(康)	山下(康)	手術	山下(康)	手術	(水)(金)……………手術	
	大塚(武)	大塚(武)		大塚(武)			
	小迫	小迫		小迫			
総合診療科	-	-	松田/梶田	-	松田/梶田		

※緊急以外の新患の受付は、午前11時00分までです。  
※精神科・脳神経内科は現在休診となっております。

☆☆☆ 院内セキュリティ強化について ☆☆☆  
(お知らせとお願い)  
不審者等による院内への侵入を防止するため、夜間(18時から翌朝8時まで)や土日祝日(年末年始を含む終日)においては、院内への入口を南側救命救急センター横の夜間・時間外入口(警備員室前)1箇所のみとさせていただきます。

## 病棟フロア

	西側	東側
7階	リハビリテーションセンター	呼吸器センター(呼吸器内科、呼吸器外科)、耳鼻咽喉科 歯科口腔外科
6階	整形外科	消化器センター(消化器内科、消化器外科)、外科、泌尿器科
5階	心臓血管センター(循環器内科、心臓血管外科)、腎臓内科、人工透析室	血液内科
4階	女性病棟(産婦人科、循環器内科、外科(乳腺))	小児科、周産期センター 消化器内科、外科、皮膚科
3階	救命救急科(全科)、手術センター 集中治療センター、HCU	脳神経センター 救命救急科、総合診療科



健康増進法第25条の定めにより、受動喫煙防止のため、敷地内での喫煙を禁止します。

広報委員会からの  
お知らせ

広報誌へのご意見・お問い合わせにつきましては院内のご意見箱、  
FAX0982-32-6759 または <https://www.nobeoka-kenbyo.jp/> まで!